



会派みどり
渡邊 龍之

滝川版CCRC・多世代事業について

質問 事業の推進に向け、行政だけではなく民間事業者との連携、また事業展開を図るべきと考えるが見解を伺う。

答弁 滝川版CCRC構想の推進には、民間との連携が必要不可欠と認識しています。健康長寿を目指す具体的プログラムについて、市内には医療・介護サービスの基盤やフィットネスクラブ、スポーツ施設があり、アクティブシニアが健康で活発に活動できる機能が充実しています。これらの機能をソフト事業と有機的に結び付けたプログラムを提供することが考えられますが、今後、関係機関と協議しながらプログラムを構築していきたいと考えています。

また、魅力あるプログラムの提供により、高齢者の方が地域活動においても活躍していただく仕組みづくりが必要であり、積極的に

情報発信を行う仕組みづくりを検討していきたいと思っています。

中空知定住自立圏構想について

質問 多様な事業を広域圏内で対応する場合は、一定の条件の下、地域活性化事業債の充当が可能となっている。

本市が中心市として他市町との事業展開を図るうえで、この地域活性化事業債を積極的に活用すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 本市としても定住自立圏構想を推進するにあたっては、地域活性化事業債を有効活用すべきと考えています。地域活性化事業債の対象分野について、総務省は平成30年度まで一定の経過措置をとるとありますが、今年度以降は医療・福祉、産業振興、公共交通の3分野に限られます。

今後においても定住自立圏の推進に向けて、地域活性化事業債をできる限り有効に活用するため、情報の収集に努めるとともに、広域連携事業の幅広い分野で活用できるよう北海道市長会などを通じて要請を行っていきたいと考えています。



会派みどり
木下八重子

子育て支援事業について

質問 女性が輝く社会を作っていくうえで、女性が働く環境づくりを進めなければならない。そのためには、保育所や学童保育の利用しやすい条件づくりに力を入れなければならぬと思うが、今後の改善策や取り組みについて考えを伺う。

答弁 保育所、放課後児童クラブとも、定員を超えても受け入れ可能な範囲で運営していますが、その枠を超えてしまい、どうしても希望する施設を利用できない場合が生じています。保育所では、定員に達していない保育所の利用をお願いしており、今後でもできる限り希望に沿えるよう、重要な課題として検討していかなければならないと考えています。

女性活躍推進センターについて

質問 地方創生の中で女性活躍推進法に基づく女性の職業生活にお

ける活躍を推進し、女性が働きやすく、子育てしやすいまちづくりを行うことにより、女性の人口流出を抑制する目的で、女性活躍推進センターを整備したいとの答弁が平成28年第1回定例会の代表質問であったが、その後の進捗状況と今後の推進計画を伺う。

答弁 女性の人口流出抑制に資する女性活躍の推進は、人口減少問題の克服と将来の成長力の確保を目的とした「滝川市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても極めて重要な施策であり、女性活躍推進センター（仮称）は、女性活躍推進の拠点であり、単なるハコモノではない事業です。

その実現可能性調査および構想策定事業は、今年6月に受託者と契約を締結したところで、全国でもほとんど例を見ない官民連携による女性活躍推進センターの実現可能性を調査していきたいと考えています。

今年度の後半には、滝川版の女性活躍推進センター基本構想を描く段階へと移し、その際には市民参加の手続きをとりながら進めていきたいと考えています。